

特別講演のお知らせ

疼痛と鎮痛の中樞機構

7/11 (水) 17:00 - 18:00 於 基礎第1講義室
学部学生(2年生必須)・大学院生・教員対象

兵庫医科大学 神経生理部門

古江秀昌 教授



痛みは侵害情報を知らせる警告系として極めて重要な感覚にもかかわらず、戦場で負傷した兵士が痛みを訴えない事例から明らかなように、過度の緊張時に我々は痛みを完全に抑制することが出来ます。心理的要因でも痛みが増減される為、他人や患者の痛みを定量的に知ることは困難です。本講義では、痛みは中枢で如何にして調節されるか、その機構を説明します。神経生理学的な基礎研究を紹介し、痛みの中樞への伝達機構やその調節系、特に覚醒や意識に関与する青斑核ノルアドレナリン神経と鎮痛、麻酔薬の作用などを講演する予定です。